

部 局 名	水道局
部 局 長 名	古谷 靖
部の運営方針	<p>我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画に掲げた、3つの基本目標及び6つの基本方針に基づき、令和4年度は主に次の取り組みを実施します。</p> <p>I. 安全</p> <p>1. 良質な水道の維持</p> <p>水源から蛇口に至るまでの総合的な水質管理を行うため、「我孫子市水道事業水安全計画」の活用や「我孫子市水道局水質検査計画」に基づく水質検査を行います。また、自己水源（深井戸）の計画的な機能保全を図るため、「取水井維持活用方針」に基づき井戸の浚渫工事および二重ケーシング工事を行います。</p> <p>II. 強靱</p> <p>2. 施設強靱性の維持</p> <p>浄水場整備では、停電時にも継続して浄水場施設を運転するために、妻子原浄水場非常用発電機更新工事を、令和4年度から2か年継続事業として行います。また、水道管路整備では、経年配水管路および基幹管路の耐震化を図るための布設替え工事を行います。</p> <p>3. 災害対応の強化</p> <p>県内水道事業体間における各種情報伝達訓練への参画のほか、市民と連携した応急給水訓練を行います。また、災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のため局内職員の事故対応訓練を行います。</p> <p>III. 持続</p> <p>4. 事業継続性の確保</p> <p>基本計画の計画期間（10年）の4年目となるため、事業の進捗状況をふまえて中間の検証を行います。また、水資源の適正運用に向けて、北千葉広域水道企業団からの受水と自己水源（深井戸）の運用コストや災害時等の対応を踏まえた、取・受水管理を引き続き行います。このほか、浄水有効利用のための漏水調査の実施等、継続的な漏水防止対策に取り組みます。</p> <p>業務効率化方策では、「浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託」及び「料金・給水・会計業務等包括委託」の着実な実施と官民連携の推進により、引き続きお客様サービス向上と業務効率化に努めます。また、職員の年齢構成が偏らないような配置を目指し、次世代の水道実務を担う人材の育成のため、職責に応じた必要な研修を実施します。</p> <p>5. 財政健全性の確保</p> <p>将来にわたり長期間使用する水道施設の整備に要する費用の負担を、世代間で平準化するために、引き続き企業債を活用します。</p> <p>6. 将来につなげる新施策の考察</p> <p>水道にかかる新技術について最新知見や先進事業の動向を注視し、導入に向けた調査・研究を進めます。また、SDGsに向けた取り組み推進のため、職員研修を行います。</p>

部 局 名	水道局
部 局 長 名	古谷 靖
部の運営方針 に対する総合 評価	<p>「我孫子市水道事業ビジョン」の3つの基本目標、「我孫子市水道事業基本計画」の6つの基本方針に沿って事業を実施しました。</p> <p>このうち「良質な水道の維持」では、計画に基づき水質検査を行うとともに、取水井の浚渫等により水源の機能保全を行い、水源から蛇口までの水質管理に努めました。</p> <p>「施設強靱性の維持」では、妻子原浄水場非常用発電機更新工事を2か年継続事業として契約し、令和5年度末竣工を目指し事業を進めています。また、水道管路整備では、つくし野、みどり台、泉、新木で計9件の経年配水管路の耐震化、柴崎台、岡発戸で計2件の基幹管路の耐震化、中里で1件の配水管路拡張工事を行いました。</p> <p>「災害対応の強化」では市の総合防災訓練などへの参加、局独自の訓練を実施しました。</p> <p>「事業継続性の確保」では、料金給水会計業務及び浄水場系業務において引き続き包括業務委託を実施し、業務の効率化とお客様サービスの向上に努めました。</p> <p>「財政健全性の確保」では、水道事業経営戦略に基づき地方債の借入れを行いました。</p> <p>「将来につなげる新施策の考察」では、SDGsの取り組み推進に向け局内で検討を進めました。</p>

令和4年度 課の目標管理書

課名：水道局 経営課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

「水道事業ビジョン」や「水道事業基本計画」に掲げた基本目標に基づき、取り組みを行います。

【強靱】災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のため、県などが行う情報伝達訓練や市の総合防災訓練に参加するほか、水道局独自でも事故対応訓練を行います。

【持続】水道事業基本計画については、事業の進捗状況の確認を行います。料金・給水・会計業務包括委託では、受託事業者と連携してお客様サービスの向上と業務効率化に努めます。次世代の水道実務を担う人材育成のための研修やSDGsの取り組みの一環として研修を行います。財政面では水道施設の整備に要する費用について、企業債を活用します。また、水道にかかる新技術については他事業体の最新知見の動向を注視し、調査研究を進めます。

2. 課の目標への取組結果

昨年度に引き続き、業務自体はおおむね通常体制で対応することができた。水道使用量が減少する中、給水申込納付金が増加したことで、水道事業収益は増額となった。

しかし、今後も管路や浄水設備の更新需要が増大することが想定され、厳しい経営環境が続くと予想されることから、引き続き収支バランスに留意して健全経営に努めていく。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	局長
令和4年度事業については概ね水道事業の基本計画に沿って進行できた。しかし、新型コロナウイルスの発生や社会情勢の変化など、計画策定時に想定していなかった事態も生じており、将来予測の修正が必要である。	給水収益が減少する一方で、水道管路や浄水設備などの更新が続くことから今後も水道事業経営は厳しい状況が続く。さらに、大規模災害への対応や次世代の水道局職員の育成など組織体制についての課題も多い。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

今後の課題として、次世代の水道事業を担う人材の育成、大規模災害や水道事故に即応できる体制の強化など、将来に向け必要な執行体制づくりを進めていく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	応急給水体制の充実
	担当部署名	水道局 経営課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1-1 防災・減災対策の推進
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。
事務事業の目的・概要	総合防災訓練などを通じて市民と連携した応急給水訓練を行い、災害時の即応能力の向上を図るとともに、県及び他の水道事業者との協定に基づく相互応援体制を維持していきます。	
関連する市の計画等	地域防災計画	
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	応急給水体制の充実	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	1,213	1,740	0.20	0	0.00	2,953	0	0	0	0	2,953
令和3年度	決算見込額	2,332	2,670	0.30	0	0.00	5,002	0	0	0	0	5,002
令和4年度	当初予算額	3,003	2,323	0.25	0	0.00	5,326	0	0	0	0	5,326
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	1,987	2,323	0.25	0	0.00	4,310	0	0	0	0	4,310

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
指標	活動 指標 市民が参加する応急給水訓練の実施回数	回	目標値		2	2	2	2
				実績値		3		
	活動 指標 水道局独自の訓練（水道局職員対象）の実施回数	回	目標値		2	2	2	2
				実績値		2		
	成果 指標 各種訓練に参加した水道局職員の割合	%	目標値		100	100	100	100
				実績値		100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	市の総合防災訓練に参加し、市民や関係団体と連携し防災意識を向上するとともに、水道局内においても独自の訓練を行い防災体制の強化を図ることができた。
成果に対する評価	順調	市民参加訓練や局内訓練を通じて、職員全員が参加できるよう配慮し、水道局全体で防災意識の向上を図ることができた。
総合的な評価	順調	水道局職員全員が防災訓練に参加することで、防災意識の向上と有事における対応方法の周知を図ることができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も定期的に防災訓練に参加及び実施し、職員の災害時の即応能力の向上を図る。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	水道事業の健全経営
	担当部署名	水道局 経営課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-7 安全な水道水の安定供給
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。
事務事業の目的・概要	中長期的な資産管理計画に基づいて健全な財政収支を維持し、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	水道事業計画の進行管理	公用車管理
	契約事務	貯蔵品管理
	出納事務	料金・給水・会計業務標包括業務委託の監理（会計業務分）
	資金管理	
	決算調整	
	組織・人事管理	
	法務事務	
	広報活動推進	
	職員研修の推進	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員 (人)	(人)	会計年度任用職員 (人)	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	44,734	52,722	6.06	0	0.00	97,456	0	0	0	0	97,456
令和3年度	決算見込額	50,715	52,599	5.91	0	0.00	103,314	0	0	0	0	103,314
令和4年度	当初予算額	58,138	51,179	5.74	0	0.00	109,317	0	0	0	0	109,317
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	62,964	51,179	5.74	0	0.00	114,143	0	0	0	0	114,143

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
指標	活動 指標	職員一人当たりの営業収益（給水収益／損益勘定所属職員数）	千円／人	目標値	124,500	124,500	124,500	124,500
				実績値	124,399			
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	広報「あびこの水道」の発行や出前講座を実施し、市民に水道事業の周知と理解を深めることで、給水収益の向上を図ることができた。
成果に対する評価	順調	最小限の職員数で最大限の収益を得るため、給水収益向上の取り組みと、業務効率化の方策を今後も引き続き検討していく必要がある。
総合的な評価	順調	広報活動を積極的にを行い、給水収益の向上を図るとともに、業務の効率化を進めることができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	「水道事業基本計画」や「水道事業ビジョン」に基づき、給水収益の向上と業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業の運営に努める必要がある。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	お客様センターの運営	
	担当部署名	水道局 経営課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-7 安全な水道水の安定供給	
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。	
事務事業の目的・概要	お客様センターを効率的に運営し、水道料金の徴収・収納の事務や給水装置工事に関する業務監理などを適切に行ってまいります。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	料金の調定・徴収・収納		
	料金・給水・会計業務棟包括業務委託の監理（料金・給水業務分）		
	滞納整理及び給水停止処分		
	給水装置の維持管理		
	給水装置工事監理		
	量水器取替・修繕業務		
	指定給水装置工事事業者の審査		
	貯水槽水道の衛生管理指導		
	直結・増圧給水の普及促進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	264,290	26,013	2.99	0	0.00	290,303	0	0	0	0	290,303
令和3年度	決算見込額	259,138	27,234	3.06	0	0.00	286,372	0	0	0	0	286,372
令和4年度	当初予算額	335,965	33,280	3.79	0	0.00	369,245	0	0	0	0	369,245
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	271,506	33,280	3.79	0	0.00	304,786	0	0	0	0	304,786

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	料金等の請求総件数	件		724,000	699,875	724,400	724,800	725,200
成果 指標	収納率（過去5年度の収納額合計／過去5年度の調定額合計）	%		99	99	99	99	99
指標				目標値				
				実績値				
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			
					目標値			
					実績値			

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	料金の請求件数は新型コロナウイルスの影響や、普及活動の推進により年々上昇傾向にあり、引き続き請求事務を効率的に進めていく必要がある。
成果に対する評価	順調	収納率は、99%を超え調定額に対する収納額は高い傾向にある。引き続き滞納整理などを積極的に行い、高い収納率を維持する。
総合的な評価	順調	包括管理委託を効率的に進めるため、お客様センターの業務管理を適正に行う。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も水道料金の徴収・収納事務を効率的に行い給水収益の向上を図る。

令和4年度 課の目標管理書

課名：水道局 工務課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

『我孫子市水道事業ビジョン』に定める基本目標「安全」「強靱」「持続」の実現に向け『我孫子市水道事業基本計画2019年度～2028年度』に基づき、計画的な執行に努め進捗管理します。

[安全]いつでも安心して飲める良質な水道

- ・水質管理業務－「水安全計画」の活用や「水質検査計画」に基づく水質検査を行います。
- ・水源施設の適切な維持管理－8号取水井二重ケーシング工事と12号及び13号取水井浚渫工事を行います。
- ・浄水場維持管理業務委託 ・浄水場施設の更新

[強靱]どんな時も給水が続けられる強くたくましい水道

・設備の長寿命化及び適切な更新－妻子原浄水場非常用発電機更新工事をR4からR5の継続事業として行います。

- ・経年劣化水道管路の更新改良、耐震化－つくし野、泉、中峠、新木地区の更新工事を行います。
- ・基幹水道管路の更新改良、耐震化－岡発戸、柴崎台地区の更新工事を行います。
- ・配水管の新設拡張工事－下ヶ戸・中里線整備工事に伴い新設拡張工事を行います。

[持続]いつまでも地域のために在り続ける水道

- ・浄水場系包括業務委託・水道管路施設維持修繕・取水及び受水の管理

2. 課の目標への取組結果

「我孫子市水道事業ビジョン」に掲げる3つの基本目標の達成に向け「我孫子市水道事業基本計画」に基づき事業を行いました。目標に掲げた事業については、全て問題なく進捗し完了しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	局長
今後も「我孫子市水道事業ビジョン」に掲げる3つの基本目標の達成に向け「我孫子市水道事業基本計画」に基づき計画的な業務の執行に努めます。	将来に向け安定的に水を供給するため、引き続き管路の耐震化や浄水場施設の更新を計画的に進め、施設の強靱化を図る必要があります。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

浄水場設備や重要給水施設管路の更新を本格的に行うためには、高度な専門知識や技術を有する人材を長期的な視野で計画的に育成する必要があります。技術継承は水道局における大きな課題ですが、技術継承をするためには第一に人材を確保することが重要で、そのうえでいかに育成・技術継承していくかを考える必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	浄水場施設の更新・維持管理
	担当部署名	水道局 工務課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-7 安全な水道水の安定供給
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。
事務事業の目的・概要	適切な浄水場の運用に努めるとともに、老朽化した施設の更新を計画的に進めます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	浄水場施設の更新業務	
	浄水場系包括業務委託	
	浄水場施設の維持管理業務	
	水質管理業務	
	取水及び受水管理	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	1,419,504	26,100	3.00	0	0.00	1,445,604	0	0	0	0	1,445,604
令和3年度	決算見込額	2,099,973	26,700	3.00	0	0.00	2,126,673	0	0	0	0	2,126,673
令和4年度	当初予算額	1,580,436	24,205	2.90	0	0.00	1,604,641	0	0	0	0	1,604,641
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	1,407,214	24,205	2.90	0	0.00	1,431,419	0	0	0	0	1,431,419

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	設備機器更新と実施計画の件数	件		13	7	4	7	7
					8			
活動 指標	浄水場維持管理業務終了件数	件		41	33	29	33	33
					33			
活動 指標	水質検査計画に基づく水質検査実施率	%		100	100	100	100	100
					100			
成果 指標	浄水場の適正な維持管理 (浄水場無事故割合)	%		100	100	100	100	100
					100			
成果 指標	水質基準適合率	%		100	100	100	100	100
					100			
		%		目標値				
		%		実績値				
		%		目標値				
		%		実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	8号井水中ポンプ劣化に伴う更新工事を急遽実施することとなったが、工事間の調整を行い完了した。また、年度内に予定していた事業についても全て完了した。
成果に対する評価	順調	水道施設の適正な維持管理を行い、浄水場無事故割合及び水質基準適合率共に100%達成した。
総合的な評価	順調	良質で安全な水道水の供給を行うため、適切な浄水場の運用に努めた。また老朽化した施設の更新を計画的に取り組んだ。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も安全で安心な水道水のため、計画に沿った浄水場の運用に努めるとともに、老朽化した施設の更新を進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	水道管路の更新・維持管理
	担当部署名	水道局 工務課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-7 安全な水道水の安定供給
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。
事務事業の目的・概要	水道管路の重要度と老朽度を総合的に判断し、計画的に管路の耐震化を進めるとともに、適切な維持管理に努めます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	水道管路の新設・拡張整備	
	水道管路の更新改良・耐震化	
	水道管路施設維持修繕	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	504,426	43,500	5.00	0	0.00	547,926	0	0	0	0	547,926
令和3年度	決算見込額	369,526	35,600	4.00	2,368	1.00	407,494	0	0	0	0	407,494
令和4年度	当初予算額	666,670	29,275	3.50	2,021	0.60	697,966	0	0	379,000	0	318,966
	補正後予算額	664,331	29,275	3.50	2,021	0.60	695,627	0	0	379,000	0	316,627
	決算額	633,563	29,275	3.50	2,021	0.60	664,859	0	0	379,000	0	285,859

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	配水管新設延長距離	m		435	150	0	0	0
				391	150			
活動 指標	耐震管布設替え延長距離	m		3605	5526	3646	5000	5000
				3537	5453			
活動 指標	修繕工事実施率	%		100	100	100	100	100
				100	100			
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	配水管新設工事及び耐震管布設替え工事は、予定の延長を実施し完了した。
成果に対する評価	順調	漏水等については、遅延することなく修繕を行い、布設工事等については、水道事業基本計画に基づき更新を行った。
総合的な評価	順調	配水管新設工事及び耐震管布設替え工事は、予定事業を全て完了した。漏水対応は迅速に修繕し適切な維持管理に努めた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	安全な水道水を安定的に供給するため、引き続き水道管路の更新・耐震化を計画的に進め、施設の強靱化を図る必要があります。